

# 令和7年度 学校評価（7月末）アンケート集計結果

## 肯定的評価の割合

※評価5と4…肯定的評価

※R6の設問内容を変更したもの(赤字)

※R6.12月評価から上がったもの(+5)

※R6.12月評価から下がったもの(-5)

5 とてもそう思う

4 そう思う

3 あまり思わない

2 ほとんど思わない

1 分からない

## アンケート設問

番号		保護者対象	12月 肯定的評価 %	7月 肯定的評価 %	児童対象	12月 肯定的評価 %	7月 肯定的評価 %	教職員対象	12月 肯定的評価 %	7月 肯定的評価 %
1	1 家庭・ 地域・ 学校が 一体とな る	① 学校は、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を展開し、子どもの様子や教育活動の情報を発信して、共有できるようにしている。	94	94	自分は、浅江の人や自然が好きだ。	91	94	学校は、学校・地域連携カリキュラムを基に、家庭・地域・学校が一体となった教育活動を展開しながら、子どもの様子や教育活動の情報を発信し、共有できるようにしている。	100	100
2	2 子どもは、あさなえネットの取組(コミュニティ・スクールの取組やPTA活動等)に喜んで参加している。	②	85	83	自分には、よいところがある。 (他の人と比べるのではなく、自分のよさとして考えましょう)	75	83(+8)	子どもは、あさなえネットの取組(コミュニティ・スクールの取組やPTA活動等)に喜んで参加している。	100	100
3	3 家庭や地域は、学校の教育方針等を踏まえ、学校・家庭・地域のつながりのある教育活動に積極的に関わっている。	③	90	90	浅江の人と関わったり、ふれあったりすることが楽しい。	90	91	学校の教育方針等を踏まえ、学校・家庭・地域の連携・協働による取組に積極的に関わっている。	95	97
4	4 学校は、「15歳の浅江っ子像」(地域が大好きな子ども、自分に自信がもてる子ども、人となりがりふれあう子ども)の育成に努めている。	①	80	84	他の学年の人や中学生といっしょに活動することが楽しい。	83	88(+5)	学校は、「15歳の浅江っ子像」(地域が大好きな子ども、自分に自信がもてる子ども、人となりがりふれあう子ども)の育成に努めている。	98	100
5	5 子どもは、上の学年の人や中学生にあこがれをもっている。	②	68	67	上の学年の人や中学生にあこがれをもっている。 (すごいな、カッコいいな、あんな人になりたいな など)	75	79	子どもは、上の学年の人や中学生にあこがれをもっている。 (すごいな、カッコいいな、あんな人になりたいな など)	93	91
6	6 学校は、家庭・地域と連携しながら、豊かな体験活動ができるよう努めている。	①	93	93	学校では、授業の中で浅江地域を知るいろいろな体験をすることができる。	88	88	学校は、家庭・地域と連携しながら、豊かな体験活動ができるよう努めている。	98	100
7	7 学校は、体験活動の中で、子どもに、進んで周りの人と関わる力が身に付くように取り組んでいる。	②	85	86	自分は、体験活動の中で、進んで友達や地域の人などと関わっている。	83	80	学校は、体験活動の中で、主体的に人と関わる力が身に付くように取り組んでいる。	95	97
8	8 学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。	①	87	85	授業は、わかりやすい。	92	93	学校は、わかりやすい授業づくりに努めている。	98	97
9	9 学校は、友達と一緒に話し合いながら、考えを深める授業づくりに取り組んでいる。	②	85	83	授業では、友達と話し合って学ぶことが楽しい。	90	93	学校は、子どもがわくわくと仲間と関わり合いながら、考えを深める授業づくりに取り組んでいる。	96	100
10	10 学校は、子どもに家庭学習の習慣が身に付くように取り組んでいる。	③	81	83	自分は、家庭学習に進んで取り組んでいる。	76	77	学校は、子どもに家庭学習の習慣が身に付くように取り組んでいる。	95	94
11	11 学校は、子どもに読書の習慣が身に付くように取り組んでいる。	④	69	76(+8)	自分は、学校の図書室や市の図書館、学級文庫の本、自分の持っている本をよく読んでいる。	71	76(+5)	学校は、子どもに読書の習慣が身に付くように取り組んでいる。	93	72(-11)
12	12 子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。	①	84	87	学校は、楽しい。	91	94	学校は、子どもが楽しいと思えるような学校・学級づくりに取り組んでいる。	100	100
13	13 学校は、家庭・地域と連携しながら、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	②	73	70	自分やまわりの人は、いじめを受けていない。	74	83(+9)	学校は、家庭・地域と連携しながら、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる。	98	97
14	14 学校は、子どもが困ったときに相談できる体制づくりに努めている。	③	78	73(-5)	自分には、困ったときに相談できる先生がいる。	81	85	学校は、子どもが困ったときに相談できる体制づくりに努めている。	95	100(+5)
15	15 学校は、計画的に体力向上や生活習慣の改善をめざした取組を行っている。	④	85	83	自分は、進んで運動や遊びを行ったり、規則正しい生活を行ったりしている。	84	85	学校は、計画的に体力向上や生活習慣の改善をめざした取組を行っている。	100	94(-6)